

要望事項 (優先順位 1)

岩倉上賀茂線の深泥ヶ池周辺道路の拡幅整備について

要 旨

当該道路は、岩倉から京都市中心部へ出る最重要道路であり、岩倉地域の住民はこぞって、本件を多年にわたり要望してきました。洛北第三土地区画整理の完成や幡枝葵森線道路改良等も影響し、鞍馬街道経由の車がこの道路に集中し、事故の可能性が一層高まることが予測されます。

池そのものの埋め立てではなく、池側に一車線を増設（橋りょう形式でも可）することが要望内容です。一車線の増設は、通行する車の流れをスムーズにし、池への汚水の流れ込みの防止につながります。深泥ヶ池の貴重な天然記念物等を後世まで保存していくためには、現在の放置ではなく、積極的な保護策を講じる必要があると考えます。

早期実現に向け、今一層の御努力を強く要望します。

**回 答
(建設局)**

都市計画道路である岩倉上賀茂線は、都市計画道路の全市的な見直しを行い、計画が天然記念物である深泥池に影響し、整備が困難であることを理由に、平成23年4月に深泥池から幡枝間の都市計画を廃止しました。

都市計画道路としては廃止しましたが、上賀茂経13号線は、岩倉地域と市街地を連絡する重要な道路であることから、通行環境の改善が必要であると考えております。

御要望いただいております池側への車線の増設につきましては、橋りょう形式であっても深泥池への影響が避けられないことから、事業化は困難です。

しかしながら、車両の離合が困難な箇所の改善に向け、幅員の狭い箇所にある民地側溝の蓋掛けへの協力依頼や、通行に支障となる電柱の移設の検討など、これまでから関係者の皆様の協力が得られるよう努めてきたところです。

本年7月には、民地側溝の蓋掛けについて、地権者の承諾が得られ、北部土木事務所により工事を実施し、狭小区間の改善を図っております。

今後もさらなる改善に向け、通行に支障となる電柱の移設に、引き続き取り組んでまいります。